



六人に対して結果の通知を行っています。認定結果の内訳は、要支援が二百三十三人、要介護一が四百二人、要介護二が三百七十七人、要介護三が二百六十人、要介護四が二百八十一人、要介護五が二百五十三人でした。また、介護保険の対象とならない自立と判定されたかたは六十人で、全体の三・三二%と予想数値七%を下回っています。一方、要介護三以上の重度のかたが全体の約四四%を占めており、予想数値二三%を大きく上回っております。

また、要支援、要介護と認定さ



れたかたのケアプランの作成も順調に進められており、四月一日からのサービス利用は支障なく行われています。

なお、短期入所サービスの利用拡大措置については、痴ほうのかたや家族が高齢、病気などの理由により短期入所サービスの利用拡大をしなければ居室での生活が困難なかたを対象に、被保険者のかたが通常の自己負担ですむように実施しました。

市では介護保険制度施行にあたり、さまざまな問い合わせや苦情に対応するための専用電話「介護一〇番」を設置するなど、制度の移行に対応してきました。これまでのところ大きな問題もなく、順調に推移しています。今後も説明会を随時開催するなど、介護保険制度が皆さんに理解され、定着するよう努めるとともに、老いて

も健康で安心して暮らせる地域社会を目指して、必要なサービス量の確保や施設整備に取り組んでいきます。

農作物の生育は

平年より遅め

今年例年になく雪解けが遅く、その後の天候が不順だったこともあり、農作物の生育は全般的に遅れ気味の傾向にあります。

水稲は播種作業が平年並でしたが、四月半ば以降天候に恵まれず春作業は平年より四日程度遅くなりました。その後、天候が回復し、移植作業の終期は平年並の五月二十三日にこぎつけています。

野菜についても、低温、断続的



な降雨の影響で、特にネギの定植作業が五日から十日程度遅れています。特産物であるやまの芋は、平年並の六月上旬には定植できそうですが、一部地域のトマトに葉カビ病が確認されており、防除の徹底を図っているところです。

また、果樹については、ナシは平年並で、リンゴが三日から四日程度遅れています。病害虫の発生は少なく順調に推移しています。今後とも気象情報に注意し、各関係機関と連携を密にしながら指導の徹底に努めてまいります。

そのほかの行政報告

- ▽ドイツ環境リサイクルの視察
- ▽平成十二年国勢調査大館市実施本部の設置
- ▽財務会計システムの完成
- ▽あきた北空港の利用状況と東京便通年二往復運航
- ▽市役所来客駐車場の拡張
- ▽平成十一年度各会計決算見込み
- ▽公共事業の発注計画
- ▽大館市環境基本計画の策定
- ▽大館市休日夜間急患センターの利用状況
- ▽地域の雇用状況
- ▽曲げわっぱ展示室のオープン
- ▽市立総合病院増改築事業基本計画市民懇談会の設置